

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公表番号】特表2005-507395(P2005-507395A)

【公表日】平成17年3月17日(2005.3.17)

【年通号数】公開・登録公報2005-011

【出願番号】特願2003-532072(P2003-532072)

【国際特許分類】

A 6 1 K	33/20	(2006.01)
A 0 1 N	25/02	(2006.01)
A 0 1 N	59/08	(2006.01)
A 6 1 P	11/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/02	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 P	41/00	(2006.01)
C 0 2 F	1/50	(2006.01)
C 0 2 F	1/76	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	33/20	
A 0 1 N	25/02	
A 0 1 N	59/08	
A 6 1 P	11/02	
A 6 1 P	17/00	1 0 1
A 6 1 P	17/00	1 7 1
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	31/00	1 7 1
A 6 1 P	31/02	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 P	41/00	
C 0 2 F	1/50	5 1 0 A
C 0 2 F	1/50	5 2 0 A
C 0 2 F	1/50	5 3 1 P
C 0 2 F	1/50	5 4 0 B
C 0 2 F	1/76	A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成23年11月10日(2011.11.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の化学組成を有することを特徴とする次亜塩素酸組成物。

次亜塩素酸 6 . 5 - 7 . 3 wt %

塩酸 27.6 - 28.5 w t %

塩化ナトリウム 13.6 - 14.2 w t %

次亜塩素酸ナトリウム 34.8 - 35.4 w t %

溶液中の塩素 7.6.5 w t %

溶存酸素 10.5 - 8.1 w t %

【請求項 2】

以下の物理的性質を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の組成物を含む次亜塩素酸溶液。

pH 5 - 6

次亜塩素酸組成物の密度 (g / ml) 0.9 - 1.05

ORP (酸化還元電位) 1250 - 1450 mV

【請求項 3】

塩素量が 16 g / l ~ 18 g / l であることを特徴とする、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

【請求項 4】

前記組成物が以下の治療のためのヒトの医療用用途を有する、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

a) 感染組織、膿瘍、蜂巣炎等の肉芽形成及び消毒用

b) 下肢上の潰瘍

c) 腹膜炎及び蓄膿症のような曝露表面及び開口部の感染空洞

d) 感染性洞炎及び鼻炎

e) 敗血症関節炎の関節内注射による治療

【請求項 5】

前記組成物が以下のヒトの医療用用途を有する、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

a) 清潔または汚染された外科創傷の洗浄

b) 初期の虫垂炎及び胆囊炎の腹腔の局所洗浄

c) 表面及び部位の消毒

【請求項 6】

前記組成物が以下の用途を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

。

a . 食物の消毒及び殺菌

b . 水処理及び給水システム

【請求項 7】

前記組成物が以下の獣医学診療における用途を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

a) 清潔または汚染された外科創傷の洗浄

b) 表面及び部位の消毒

【請求項 8】

前記組成物が以下の獣医学治療における用途を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

a) 感染組織、膿瘍等の肉芽形成及び消毒用

b) あらゆる種類の潰瘍形成

【請求項 9】

前記組成物が花栽培において以下の用途を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の次亜塩素酸組成物。

a) 収穫物の消毒

b) フサリウム属菌及びシガトガ病原菌 (sigatoka negra) の除去

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0020

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0020】

本特許発明の目的である次亜塩素酸組成物は有効な塩素含量 17 g / l を含む次亜塩素酸溶液である。物理的性質は以下の通り：

化学式 H O C l

外見 結晶構造

臭い 塩素特有の臭い

塩素 (g / l) 最大 16 - 18

pH 5 - 6

次亜塩素酸組成物の密度 (g / ml) 0.9 - 1.05

O R P (酸化還元電位) 1250 - 1450 m v

化学組成は：

次亜塩素酸 6.5 - 7.3 w t %

塩酸 27.6 - 28.5 w t %

塩化ナトリウム 13.6 - 14.2 w t %

次亜塩素酸ナトリウム 34.8 - 35.4 w t %

溶液中の塩素 7.6.5 w t %

溶存酸素 10.5 - 8.1 w t %

溶液の安定性は、塩素濃度、溶液の pH、溶液温度、露光量に依存する。